

シリーズ195

# 高めよう！ 人権意識

## 心のかけ橋

問 人権推進課  
(☎928-1006)

つながりあう まちづくり  
小さな気づきが  
大きくつながる

地域のつながりが希薄に…

私たちの地域では、古くからのつながりが残っているところも多くありますが、少子高齢化や核家族化、価値観の変化などにより、地域の人間関係が希薄になっているのが現状です。

独り暮らしの高齢者の孤立や子育て中の親の孤立、児童虐待、DV(ドメスティック・バイオレンス)などの問題も、地域の人間関係の希薄さによって助長されている場合があります。

また、地域に対する関心の低下から、さまざまな活動に支障を来す要因も増えています。

こうした中で、人権を尊重し合いながら暮らししていく「人権文化が根づいた地域社会」の実現に向けて人々が集い、自治会(町内会)単位で取り組む住民学習会の意義はさらに重要になっています。



絆を強めるために

「住んでよかった」と思えるまちをめざして、児童の登下校時の見守り活動や独り暮らしの高齢者の茶話会など、地域ではさまざまな活動に取り組んでいます。こうした「地域を良くしていきたい」という地道な活動から人権感覚が根づいていきます。

また、さまざまな取り組みを通じて、近所同士の信頼関係と助け合いの心が日常的に育まれ、コミュニケーションをより深めることにもつながっていきます。

お互いの違いを尊重しましょう

全ての人の人権が尊重される社会をつくるためには、さまざまな人権課題についての理解を深めるとともに、自分の大切さや他の人の人の大切さにも気づき、人権感覚を高めることが重要です。

また、一人ひとりがお互いの違いを認め合い、他の人の人権を守ることが自分の人権を守ることにもつながります。日頃から、誰もがもつ「幸せに生きたい」という願いを大切にしましょう。

市では、誰もが「いつまでも住み続けたい」と思えるまちづくりを進めるために、リーフレット「つながりあう まちづくり」を作成しました。住民学習会など、研修の場で活用してください。



高めあう 人権感覚 確かな未来